

ふもと



平成29年9月22日
学校だより 第5号
沼津市立金岡中学校

< 学校教育目標 >

豊かな心を持ち、「自立」をめざすたくましい生徒

ホームページ : <http://www.numazu-szo.ed.jp/kanaoka-j/>

沼津市神田町4-1

平成29年度 第47回ふもと祭

9月30日(土)・10月1日(日)に本年度もふもと祭を予定しています。1日目の30日(土)はステージの部及び展示、2日目の10月1日(日)は体育の部及び展示の発表となります。ふもと祭のスローガンは「和」～ここに咲かせ



日本の文花～です。日本にはみんなとの「ツナガリ」を大切にしている文化があります。そんな素敵な日本を、ふもと祭を通して表現し花を咲かせたいという気持ちが込められています。本年度の生徒会のスローガンが「ツナガル」ですから、金岡中学校に関係する皆さんが「ツナガル」機会としたいと思います。合唱の順番や紅白の組み分けも決まりました。紅組はB組、D組、E組、白組はA組、C組、F組、G組です。現在、学年種目、全員リレー、合唱の練習を朝と帰りに一生懸命取り組んでいます。当日は、多くの皆様にご来校いただき、生徒たち一人一人が輝く姿をご覧いただければ幸いです。



「やればできる? 甘い小学生以下の発想だ。やってもできないことなんていくらだってある。空を飛ばうと努力したって飛ぶことなんて不可能だ。だがその過程が大事なんだ。やろうとした行為や努力こそがその人を成長させる糧になる。」

ふもと祭にむけてどのクラスも一生懸命努力しています。そんな皆さんに声を掛けたくて「努力」という言葉でネット検索したら上のような文章が出てきました。名言の中に出てきましたが誰の言葉かわかりません。また、将棋棋士の羽生善治さんは過去に次のようなことを言っているそうです。

「何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だと思っている。」

ふもと祭で皆さんが目指しているのは合唱コンクールの最優秀賞、学年種目の優勝、全員リレーの優勝、体育の部総合優勝です。でも最優秀賞や種目の優勝は各学年1クラスです。総合優勝も半分のクラスです。当然のことですが、目標がかなわないクラスが出てきます。それでも目標に向かって努力していること、一生懸



命になっていること、それが大切です。一生懸命にやろうとしたこと、努力したことに価値があります。目標を達成できたうれし涙、目標を達成できなかった悔し涙、それぞれに良さがありますが、最初からあきらめていては悔し涙さえ出てきません。ふもと祭直前になってあきらめかけている人はいませんか？2学期の始業式に「9月は学習以外のことはすべて犠牲にしてふもと祭に集中しましょう」と言いました。ふもと祭が始まるまであと数日で何が出来るのでしょうか。一人一人が考えたいことです。



さて、4月から「プラス思考で生活しよう」と皆さんに声を掛けました。でも、皆さんはプラス思考とは、どのようなものだと考えているのでしょうか。

- ・嫌なことがあってもすぐに忘れることが出来る。
- ・何があっても楽しく笑っている。
- ・どんなことがあっても元気に声を張り上げている。

このような行動が出来るのをプラス思考だと考えていないでしょうか。それも1つのプラス思考ではあると思いますが、そのような楽天的なお気楽主義のプラス思考だけでは成長していきません。金岡中は一人一人の自立を目指しています。自立していくためにはこのようなお気楽プラス思考だけでは、あまり意味がないのです。このようなお気楽プラス思考で良いことは、くよくよ悩まずに済むということでしょう。でも、それだけで終わってしまいます。

私が考えるプラス思考とは、「自分にとってプラスになるように考える思考パターン」のことなので、失敗から逃げるわけでもありませんし、その悩みから目をそらすわけでもありません。ほんの少しの言葉の違いですが、そこから生み出される結果は大きく異なると思います。

お気楽思考のプラス思考は、現実から逃げるような考えですし、出来るだけ自分の精神に負担がかからないように考えるために、頭をあまり使いません。その為に、本来のその失敗から学べたはずの貴重な学びを得ることが出来ません。つまり、学びも何もなく、自分が傷つかないようにするだけなのです。私はお気楽プラス思考の先が本当のプラス思考だと思っています。



私の考えるプラス思考は、そこから逃げるわけでも、見ないふりをするわけでも、別の事に逃げるわけでもありません。ですので、つらいことが起これば基本的につらいですし、嫌なことがあれば当然嫌な気持ちになります。でも、そこから自分の頭を使って考えて、自分にとってプラスになるようにするのがプラス思考です。悲しいこと、辛いこと、苦しいことすべてをマイナスととらえずに自分の力とする。それがプラスになるように考える。そうやって前向きに取り組んでいく考え方、生き方、それが本当のプラス思考ではないでしょうか。

4月にお願いした中に、プラス思考と同時に「どんなことにも挑戦してみよう」がありました。私たち大人の可能性はだいぶ狭くなっていますが、皆さんの可能性はいろいろな方向に無限にあります。だからこそプラス思考で何事にも挑戦してみる姿勢が大切なのです。

ふもと祭が終了した時、どのように感ずるか。何を考えるのか。それは皆さん次第です。

